

令和七年度韓国慶尚北道サマーキャンプ参加報告

近畿大学附属広島高等学校福山校三年 津野さくら

はじめに

私は2025年8月17日から23日にかけて、韓国・慶尚北道で行われた「グローバルユースキャンプ」に参加しました。今回のプログラムでは、韓国の文化や歴史を学ぶだけでなく、現地の同世代の人たちと交流する機会もありました。普段の学校生活ではできない体験を通して、多くの気づきがあったので報告します。

韓国文化の体験

安東では韓国の伝統料理「チムタク」作りに挑戦しました。料理を一緒に作りながら交流できたので、自然と会話もはずみました。また、K-POP体験では歌やダンスを通じて韓国の若者文化に触れました。伝統と現代が両立しているのを実際に関じられたのはとても新鮮でした。

歴史と自然から学んだこと

慶州では仏国寺や博物館を見学しました。日本とのつながりを感じる展示もあり、隣国としての歴史的な関係を改めて考えさせられました。また、東海岸での朝日や漁村訪問では、自然の豊かさや人々の暮らし方を目の当たりにしました。環境を大事にしている姿勢は、これからの社会に必要なだと強く感じました。

国際交流で得たもの

他国の参加者と一緒に過ごす中で、国境を越えて友情が生まれるのを実感しました。英語で会話するのは難しかったですが、伝えようとする気持ちが大切だと分かりました。思うように話せなかった悔しさは、もっと語学を勉強したいというやる気につながりました。

今後に向けて

今回の経験を通して、相手の文化を尊重しながら自分の文化を伝えることの大切さを学びました。将来は国際的な場で活躍できるように、語学力やコミュニケーション力をさらに伸ばしていきたいです。

おわりに

グローバルユースキャンプでの一週間は、文化や歴史、交流を通して多くの学びを得られる時間でした。今回の経験を支えてくださった方々に感謝するとともに、出会った仲間とのつながりを大切にしていきたいです。ここで得た学びを忘れず、進路や将来にしっかり活かしていこうと思います。